

事業カルテ (4年度決算)

TAMA女性センター

02-01-07-086

TAMA女性センター運営経費

◇事業の位置づけ等

| | | | | | | |
|---------------------------|--|-----------------------|----------------------|---|---|---|
| 事務の種類 | 自治事務 | 基礎となる法令 | 男女共同参画社会基本法 | | | |
| 第五次総合計画 基本計画体系 | 目指すまちの姿 | みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち | | | | |
| | 政策 | C3 | だれもが平等で互いに尊重し合うまちづくり | | | |
| | 施策 | 2 | 男女平等・男女共同参画の推進 | | | |
| | 関連する施策 | - | - | - | - | - |
| 関連する個別計画 | 多摩市女と男がともに生きる行動計画 | | | | | |
| 関連する報告書など | TAMA女性センター事業概要 | | | | | |
| 事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など | 女性問題の解決や男女平等参画の推進に向けて、平成11年9月に多摩市立TAMA女性センターを開設した。令和3年度からは、令和12年度までの10年間を計画期間とする「第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画」に基づきTAMA女性センターの充実に向けた取組を進めていく。 | | | | | |

◇令和4年度の事業の実施内容

| | | |
|--------------------|---|----------|
| | 事業開始の時期 | 平成13年度以前 |
| 事業の目的、 令和4年度の目標 | 令和3年度から新たにスタートした「第4次多摩市女と男がともに生きる行動計画」に基づき、市の男女平等参画社会の実現に向けた市民及び事業者を対象にした意識啓発や情報提供、市民運営委員会やフェスティバル実行委員会との協働、悩みや課題を抱える女性へのエンパワーメント、TAMA女性センターの適正な施設管理を行う。 | |
| 予算の執行方法 | 意識啓発事業講師謝礼及びそれに伴う保育業務委託料、意識啓発DVD等借上料、市民運営委員会委員謝礼、DV防止及び被害者保護に関する連絡会委員謝礼、多摩市男女平等参画推進フェスティバル開催補助金、女性相談員報酬、LGBT電話相談員謝礼、TAMA女性センター備品修繕料等を執行する。 | |
| 事業の成果 | TAMA女性センター市民運営委員会や登録団体等と連携し、男女平等参画社会の実現に向けた啓発講座を実施した。また、女性を取り巻く悩みなんでも相談、女性のための法律相談、LGBT電話相談を実施し、様々な悩みや課題を抱えた相談者に対して支援を行った。多摩市男女平等参画推進フェスティバル(すべての人がともに生きるフェスティバル)を開催し、より多くの世代に男女平等参画の重要性とTAMA女性センターの取組を知ってもらう機会とした。 | |

◇事業にかかる費用

| 区 分 | 平成30年度(決) | 令和元年度(決) | 令和2年度(決) | 令和3年度(決) | 令和4年度(決) | | |
|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 決算額(単位:千円) | 3,970 千円 | 3,694 千円 | 3,207 千円 | 3,722 千円 | 3,632 千円 | | |
| 事業にかかる実コスト | 18,448 千円 | 17,977 千円 | 16,498 千円 | 16,146 千円 | 16,766 千円 | | |
| 内 訳 | 直接経費 | 国庫支出金 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | |
| | | 都支出金 | 258 千円 | 132 千円 | 171 千円 | 424 千円 | 312 千円 |
| | | 地方債 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| | | その他特定財源 | 438 千円 | 377 千円 | 170 千円 | 144 千円 | 308 千円 |
| | | 一般財源 | 3,274 千円 | 3,185 千円 | 2,866 千円 | 3,154 千円 | 3,012 千円 |
| | 間接経費 | 職員人件費 | 12,601 千円 | 12,445 千円 | 12,557 千円 | 12,424 千円 | 12,449 千円 |
| | 《従事人員数》 | 1.50 人 | 1.45 人 | 1.50 人 | 1.50 人 | 1.50 人 | |
| | その他の人件費 | 1,877 千円 | 1,838 千円 | 734 千円 | 0 千円 | 685 千円 | |

◇成果指標

| 指標の種類 | 指標について | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------------|---------------------------|----|-------|-------|-------|
| 活動指標 (アウトプット) | あらゆる暴力の防止に向けた意識啓発と情報提供の実施 | 目標 | 2回 | 2回 | 2回 |
| | | 結果 | 2回 | 4回 | — |
| 成果指標 (アウトカム) | TAMA女性センターの認知度 | 目標 | 55.0% | 55.0% | 55.0% |
| | | 結果 | 45.4% | 45.4% | — |

特記事項

成果指標「TAMA女性センターの認知度」の目標値は、市政世論調査の数値を反映するため隔年での測定となる。(令和4年度結果には、直近の令和3年度調査の数値を使用)

◇自己点検

| | | | | |
|-----------------|--------|----------|----------------|---|
| の成果 推移 指標 | 今後の見通し | | 方今 向後 性の | 今後の課題や方向性に関するコメント |
| | 量的 | 財一 源般 | | |
| B | A | B | イ | TAMA女性センターの施設や事業への若い世代の参画増加や利用者の増加にむけ、TAMA女性センターの認知度向上のための基本方針を作成した。今後はその基本方針に基づき、SNSによる情報発信の増加やニュータウン地域での事業開催など市民へのアプローチを工夫し、センターの認知度向上と市民参画を促進していく。 |

02-01-07-086

TAMA女性センター運営経費

◇ 執行状況及び成果等

1 「多摩市男女平等参画推進フェスティバル」開催経費補助

開催形態: 実行委員会形式(開催経費補助)

開催日: 令和4年11月26日(土)

開催場所: 関戸公民館

参加者数(のべ): 401人

開催内容: 関連映画上映、プラスバンドコンサート、学習講演会「性と生、自分らしさのはなし」、X'masオーナメント・缶バッジ作成、TAMA女性センター登録団体活動パネル展示など

2 TAMA女性センター相談事業相談件数

| | 女性を取り巻く悩み なんでも相談 | 女性のための法律相談 | LGBT電話相談 |
|--------|---------------------|------------------|------------------|
| 平成30年度 | 338 | 47 | |
| 令和元年度 | 375 | 41 | 17 ^{※2} |
| 令和2年度 | 363 | 34 ^{※1} | 16 |
| 令和3年度 | 425 | 25 | 26 |
| 令和4年度 | 398 | 44 | 13 |

※1 令和2年4月は、新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い弁護士の派遣中止のため実施なし

※2 令和元年度から毎月実施開始

3 ワークショップルームの利用者数

| | |
|--------|--------------------|
| 平成30年度 | 4,495 |
| 令和元年度 | 4,460 |
| 令和2年度 | 1,572 [※] |
| 令和3年度 | 2,402 |
| 令和4年度 | 3,040 |

※ 令和2年度は4月1日～6月15日新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い休館

4 学習・啓発講座等の開催

開催形態: TAMA女性センター主催、市民運営委員会企画、他機関・団体との連携など

定員有の事業数: 17事業

参加者数: 421人(「定員なし」の事業を含まない参加人数)

5 あらゆる暴力の防止に向けた意識啓発と情報提供の実施

実施事業数: 4事業

実施内容: 講演『ドラマで学ぶ「日常に潜むDV」—DV・デートDVなど、ジェンダーに基づく暴力を手掛かりに一』、パネル展示「STOP! DV・児童虐待～みんなで考えよう、Wリボン～」、啓発特集記事掲載「たま広報11月20日号1・2面」、パネル展示「親子で読んで欲しいオススメ本!」(市民運営委員会企画講座)

02-01-07-089

多摩市総合計画改定事業

※事業カルテ作成対象外事業のため事業カルテ及び診断書の作成は省略しています。
事業の概要については事業別歳出決算額一覧表をご覧ください。

◇ 執行状況及び成果等

1 執行状況

単位:円

| 支出項目 | 金額 |
|------------------------------|------------|
| 多摩市総合計画審議会委員報酬 | 1,404,200 |
| 多摩市総合計画改定支援業務委託料(コンサルティング委託) | 10,275,595 |
| 会場使用料(パルテノン多摩施設利用料) | 12,200 |
| 合計 | 11,691,995 |

2 多摩市総合計画審議会の設置について【多摩市総合計画審議会条例第4条】

15人以内で構成し、次に掲げる者のうちから市長が委嘱するとしている。

- (1)多摩市教育委員会の委員 1人 (2)多摩市農業委員会の委員 1人
(3)多摩市都市計画審議会の委員 1人 (4)学識経験者 5人以内 (5)市民 7人以内

3 審議会の開催状況

| 回数 | 開催日 | 主な審議内容 |
|-----|------------|---|
| 第1回 | 令和4年7月7日 | 1.委嘱状の交付 |
| | | 2.会長、副会長の選出 |
| | | 3.諮問 |
| | | 4.「(仮称)第六次多摩市総合計画」改定方針について |
| | | 5.「(仮称)第六次多摩市総合計画」の進め方等について |
| 第2回 | 令和4年8月1日 | 1.各種データ等からみる多摩市の現状と課題の報告について 2.基本構想の構成について |
| 第3回 | 令和4年8月25日 | 1.審議会委員(学識経験者)からの知見の共有 |
| 第4回 | 令和4年9月26日 | 1.将来都市像について(グループに分かれて議論) |
| 第5回 | 令和4年10月31日 | 1.多摩市総合計画市民ワークショップの報告について |
| | | 2.将来都市像の検討について(審議会全体で議論) |
| 第6回 | 令和4年11月28日 | 1.将来都市像(たたき台)の報告について |
| | | 2.基本構想・計画の構造の確認について |
| | | 3.各種データ等からみる多摩市の現状と課題の報告について |
| | | 4.分野別の目指すまちの姿について ・子ども・教育分野 |
| 第7回 | 令和4年12月22日 | 1.分野別の目指すまちの姿について ・産業・観光分野 |
| | | ・防災・防犯・都市づくり・住宅・交通分野 |
| | | ・環境分野 |
| | | 1.分野別の目指すまちの姿について ・環境分野 |
| 第8回 | 令和5年1月24日 | ・健康・医療・地域福祉・高齢者福祉・障がい者福祉分野 |
| | | ・市民活動・文化・スポーツ・平和・人権分野 |
| | | 1.基本構想の検討について ・新たな基本構想策定の背景について |
| 第9回 | 令和5年2月20日 | ・まちづくりの基本理念について |
| | | ・将来都市像について |
| | | ・分野横断的に取り組むべき重点テーマについて |
| | | |

事業カルテ (4年度決算)

企画課

02-01-07-908

総合戦略推進経費

◇事業の位置づけ等

| | | | | | | |
|---------------------------|--|---------|--------------|---|---|---|
| 事務の種類 | 自治事務 | 基礎となる法令 | まち・ひと・しごと創生法 | | | |
| 第五次総合計画 基本計画体系 | 目指すまちの姿 | — | | | | |
| | 政策 | — | — | | | |
| | 施策 | — | — | | | |
| | 関連する施策 | — | — | — | — | — |
| 関連する個別計画 | 多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略 | | | | | |
| 関連する報告書など | — | | | | | |
| 事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など | <p>国は、人口減少に伴う諸問題に対応するため、第1期(平成27年度から令和元年度まで)の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。当市においても委員会(学識経験者、公募市民等)を設置し、「多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。また、平成28年度からは同委員会では第1期の進捗状況の確認や成果の検証等を行った。</p> <p>国は、令和元年12月に第1期で進められてきた施策の検証を基に、継続して地方創生に取り組むとして、令和2年度を初年度とする今後5か年の目標や施策の方向性等を定めた第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。本市においても、令和3年3月に第2期総合戦略の改定を行い、進捗状況の確認や成果の検証等を行った。</p> <p>さらに、令和4年12月には、「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、国は第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂した。</p> | | | | | |

◇令和4年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成27年度

| | |
|--------------------|---|
| 事業の目的、 令和4年度の目標 | 総合戦略の推進に向けて、学識経験者、公募市民等で構成される「多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会」を開催し、事業ごとに設定した「重要業績評価指標(KPI)」の進捗状況の確認を行った。また、第六次多摩市総合計画との一体化に合わせて、より効果的な産業振興や魅力あるまちづくりを進めるため、総合戦略を更新する。 |
| 予算の執行方法 | 総合戦略の推進に必要な経費として、総合戦略検討委員会の委員謝礼を執行した。 |
| 事業の成果 | 総合戦略検討委員会における、「重要業績評価指標(KPI)」の成果の検証等を活かし、総合戦略を推進した。また、第六次多摩市総合計画の策定方針に総合戦略を一体化することを明記し、検討を開始した。 |

◇事業にかかる費用

| 区 分 | 平成30年度(決) | 令和元年度(決) | 令和2年度(決) | 令和3年度(決) | 令和4年度(決) | |
|------------|-----------|----------|----------|----------|----------|-------|
| 決算額(単位:千円) | 136千円 | 136千円 | 321千円 | 135千円 | 112千円 | |
| 事業にかかる実コスト | 1,816千円 | 2,282千円 | 5,344千円 | 3,448千円 | 3,017千円 | |
| 内 訳 | 直接経費 | | | | | |
| | 国庫支出金 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 |
| | 都支出金 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 |
| | 地方債 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 |
| | その他特定財源 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 |
| | 一般財源 | 136千円 | 136千円 | 321千円 | 135千円 | 112千円 |
| 間接経費 | | | | | | |
| 職員人件費 | 1,680千円 | 2,146千円 | 5,023千円 | 3,313千円 | 2,905千円 | |
| 《従事人員数》 | 0.20人 | 0.25人 | 0.60人 | 0.40人 | 0.35人 | |
| その他の人件費 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | |

◇成果指標

| 指標の種類 | 指標について | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------------|----------------------------------|----|----------|----------|----------|
| 活動指標 (アウトプット) | 総合戦略検討委員会の開催 | 目標 | 2回 | 3回 | 3回 |
| | | 結果 | 2回 | 2回 | — |
| 成果指標 (アウトカム) | 将来展望人口に沿った人口の推移 ※各年10月1日時点の人口 | 目標 | 148,335人 | 147,849人 | 147,363人 |
| | | 結果 | 147,922人 | 147,770人 | — |

特記事項

—

◇自己点検

| の 成 果 推 移 指 標 | 今後の見通し | | 方 今 向 後 性 の | 今後の課題や方向性に関するコメント |
|---------------------------------|--------|-------------|----------------------------|--|
| | 量 的 | 財 源 般 | | |
| B | B | B | イ | 第2期総合戦略では、毎年度達成状況を評価・検証した上で、総合計画との整合を図りながら見直すとしており、大きく変化する社会情勢に対応するため、本戦略の成果の検証等を行いつつ、適正なKPIを設定する。 |

| | |
|--------------|----------|
| 02-01-07-908 | 総合戦略推進経費 |
|--------------|----------|

◇ 執行状況及び成果等

1 多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会の構成

【多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会設置要綱 第3条】

委員会は、次に掲げる者7人以内をもって構成する。

- (1) 学識経験者 5人以内
- (2) 多摩市内に在住若しくは在勤する者又は多摩市内の大学に在学する者 2人以内

2 委員の任期

- 第1期 平成27年10月8日～平成28年3月31日
- 第2期 平成28年6月20日～平成30年3月31日
- 第3期 平成30年11月28日～令和2年3月31日
- 第4期 令和2年8月1日～令和4年3月31日
- 第5期 令和4年11月15日～令和6年3月31日

3 多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会 開催状況

| | | | | | |
|------|----|----|----|----|----|
| 年度 | 30 | 元 | 2 | 3 | 4 |
| 開催回数 | 2回 | 2回 | 5回 | 2回 | 2回 |

4 多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会の審議内容

| 回数 | 開催日 | 審議内容 |
|-----|---------------------------------------|---|
| 第1回 | 令和4年11月15日 | 「第2期多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の令和3年度の取り組みの評価について |
| 第2回 | 令和5年2月16日 ～ 令和5年2月28日 (書面開催) | 令和4年度第1回多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討委員会からの意見等に対する市の対応について |

| | |
|--------------|-----------|
| 02-01-07-936 | 行財政改革推進事業 |
|--------------|-----------|

※事業カルテ作成対象外事業のため事業カルテ及び診断書の作成は省略しています。
事業の概要については事業別歳出決算額一覧表をご覧ください。

◇ 執行状況及び成果等

(1) 執行状況 単位:円

| | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 |
|-----------------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 委託料(庁内業務改革推進事業) | 10,832,400 | — | — | — | — |
| 委託料(RPA(※1)) | — | 5,170,000 | 911,900 | 911,900 | 1,146,750 |
| 委託料(聖蹟桜ヶ丘かわまちづくり社会実験) | — | — | — | — | 4,909,414 |
| 使用料及び賃借料 | — | 2,395,800 | 1,999,800 | 1,710,225 | 1,400,850 |
| 備品購入費 | — | 224,840 | — | — | — |

※使用料及び賃借料はRPAソフトウェア使用料等、備品購入費はOCR(※2)の専用端末購入費

(2) 令和4年度執行内容

【委託料】

(RPA)

専門的な知識が必要となるRPAについて、機能や操作のサポート、ソフトウェア保守等を受け、安定した稼働及び維持管理を行った。

(聖蹟桜ヶ丘かわまちづくり社会実験)

聖蹟桜ヶ丘駅北側の多摩川河川敷において、居心地の良い河川空間づくりを目指し、河川敷の管理手法や利用ルール等を検討するための社会実験実施業務を委託した。

【使用料及び賃借料】

RPAソフトウェアの使用料

※1 「Robotic Process Automation」の略。人の手で行っている定型的作業(システム操作やデータ入力処理など)を学習させることにより、人間と同じように操作を行うソフトウェア。

※2 「Optical Character Recognition/Reader」の略。日本語では「光学的文字認識」と訳される。紙に印刷された文字をスキャナやカメラで読み込み、テキストデータに変換する技術。

| | |
|--------------|--------------|
| 02-01-07-937 | 市制施行50周年記念事業 |
|--------------|--------------|

※事業カルテ作成対象外事業のため事業カルテ及び診断書の作成は省略しています。事業の概要については事業別歳出決算額一覧表をご覧ください。

◇執行状況及び成果等

◇事業の概要

令和3年（2021年）11月1日に迎えた市制施行50周年を祝うため、令和3年9月から令和4年8月を実施期間として記念事業等を実施した。

1 多摩市市制施行50周年記念事業実施計画（令和4年4月更新）

| 名称 | | 内容 | 実施主体 |
|-----------------|---------------------|---|------|
| 記念式典・表彰及び記念イベント | | 令和4年7月23日、24日に50周年記念事業の締めくくりとして記念イベントを実施する。 | 市 |
| 市主催事業 | | 基本方針、基本計画で定めた5つの実施方針、2つの事業コンセプトをもとに、全庁的に実施する。 | 市 |
| 市民事業 | ・実行委員会事業 ・市民企画事業 | 多くの市民の参画のもとに、50周年を記念した事業を「実行委員会事業」と「市民企画事業」として企画・実施する。 | 市民 |
| | 市民提案事業 | 市の直面する課題の解決に向け、市が掲げた3つのテーマに対し、市民の方々の自由な発想によるイベント・調査・研究・啓発活動などの企画・事業提案を募集をし、審査を経て、ふさわしいと判断された事業について1事業 最大50万円の補助をする。 | 市・市民 |
| 記念誌刊行事業 | | 多摩市のあゆみを振り返り、地域への愛着をはぐくむための記念誌を令和3年12月に刊行した。 | 市 |

2 記念式典・表彰及び記念イベント 市主催事業

これまでの50年を振り返るとともに、今後の50年を見据え、市の冠事業を行う。
(令和3年度は36事業実施、令和4年度は23事業実施)

(単位：円)

| 年度（西暦） | 30（2018） | 元（2019） | 2（2020） | 3（2021） | 4（2022） | 内容 |
|-----------------------------|----------|---------|-----------|---------|-----------|---|
| 市制施行50周年記念グッズ等の作成 | — | 818,686 | 2,000,955 | 451,440 | 44,460 | 50周年をPRするため、50周年ロゴマーク・キャッチコピー「くらし・たのし・たまし」を活用した記念グッズを作成。市立小中学校の全ての児童・生徒に配布したうちわや、横断幕・懸垂幕、缶バッジ、ネックストラップにより、多くの方に周知を実施した。 |
| 市制施行50周年記念イベント「くらし・たのし・たまし」 | — | — | — | — | 3,542,426 | 「50周年をきっかけに未来につなぐ、新たなまちの姿を見つける」ことをテーマに、記念式典、講演会、体験型ブースのほか、マルシェ、シンポジウムなどを実施。2日間で延べ17,000人を超える来場者があった。 |
| 市制施行50周年記念式典 | — | — | — | — | 1,900,460 | 記念すべき50周年をお祝いするとともに、多摩市を支えてきた団体（469団体）へ感謝状を贈呈する、「記念式典」を実施した。 |
| 市制施行50周年記念タイムカプセル事業 | — | — | — | 996,288 | 206,800 | 40年前のタイムカプセルを発掘するとともに、30年後に掘り起こす新たなタイムカプセルを埋蔵した。新たなタイムカプセルに収める記念品の作成には、500人を超える児童等が参加した。また当日は、40年前に記念品を制作した当時の児童7名と、新たなカプセルに収めた記念品を制作した児童の代表10名が出席した。 |
| 市主催事業 | — | — | — | — | — | 基本方針で定めた2つのコンセプト及び5つの柱のもと、令和3年度は36事業、令和4年度は23事業を実施した。 (記念式典、タイムカプセル事業を含む) 【2つのコンセプト】 「これまでの本市の50年を振り返り、積み上げてきたものを活用・再発見する事業」 「50周年をきっかけに未来につなぐ新たなまちの姿を見つける事業」 【5つの柱】 「子どもたちの夢・希望」「まちの価値を高める」「交流・つながりの深化」「魅力の発信」「誇りと愛着を高め、未来へ」 |

3 実行委員会事業

(単位：円)

| 年度（西暦） | 29 (2017) | 30 (2018) | 元 (2019) | 2 (2020) | 3 (2021) | 4 (2022) | 内容 |
|-------------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--|
| 企画・検討等支援業務委託 | 165,474 | 1,017,753 | 1,987,524 | — | — | — | 市民事業の企画提案・実施 |
| 多摩市市制施行50周年記念市民事業コーディネーター業務委託 | — | — | — | 983,400 | 1,244,723 | 486,703 | 市民事業実行委員会のコーディネートにより、市制50周年を記念したクラフトビール「TAMA BASE BEER」の制作や、20以上の市民がパーソナリティーとなるラジオ配信「TAMA NEW RADIO」、記念式典での学校と連携した合唱・合奏などを立案・実施した。 |
| 多摩市市制施行50周年記念市民事業特別企画業務委託 | — | — | — | 2,458,500 | 2,950,200 | 1,966,800 | これまでの50年のまちの歴史のなかで紡がれてきた多彩な市民のドラマの記録「多摩市50周年物語～ボクとワタシのTama Story～」を50本、企画・制作した。 |
| 市制施行50周年記念市民事業オンライン事業 | — | — | — | 9,900,000 | — | — | 新型コロナウイルス感染症の影響で、発表の場が失われた市民団体、学校等の発表、交流の機会として、オンライン上で多種多様な企画の生配信をした。映像の作成には50を超える学校・地域団体、1,000人以上が参加し、当日の配信は2万2千件視聴された。 |

4 市民企画事業

| 年度（西暦） | 30（2018） | 元（2019） | 2（2020） | 3（2021） | 4（2022） | 内容 |
|--------|----------|---------|---------|---------|---------|--|
| 市民企画事業 | — | — | — | — | — | 市内の自治会・学校・法人・団体等がこれまで実施してきた企画・イベントや50周年を機に新規に実施するものに、「市制施行50周年記念」の冠を付して市が後援することで、市内各地で市制施行50周年を祝うムードを醸成。対象事業には、市ホームページや市報等へ市民企画事業として広報するほか、50周年PRグッズの貸与などの支援を実施。 令和3年度：22事業 令和4年度：10事業 |

5 市民提案事業

（単位：円）

| 年度（西暦） | 30（2018） | 元（2019） | 2（2020） | 3（2021） | 4（2022） | 内容 |
|---------------------|----------|---------|---------|---------|-----------|---|
| 多摩市市制施行50周年記念市民提案事業 | — | — | — | — | 1,901,100 | 多摩市の直面する課題の解決に向け、多摩市が掲げた3つのテーマに対し、市民の方々の自由な発想によるイベント・調査・研究・啓発活動などの企画・事業提案をもらい、審査を通過した5団体が事業を実施した。 ※市民提案事業審査委員会委員謝礼を含む。 |

6 記念誌刊行事業

（単位：円）

| 年度（西暦） | 28（2016） | 29（2017） | 30（2018） | 元（2019） | 2（2020） | 3（2021） | 4（2022） | 内容 |
|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|---------|--|
| 記念誌作成業務委託 | 66,379 | 1,683,500 | 3,170,579 | 3,529,520 | 3,587,760 | 3,501,300 | — | 原稿執筆料、写真・資料整理、編集委員会運営 ※記念誌作成準備委員会・編集委員会委員謝礼及び保育業務委託を含む。 ※平成28年度の66,379円は企画事務経費 |

平成29年度は、写真等資料の整理を中心に実施し、章立てや執筆候補者案を作成した。

平成30年度は、章立てを確定し、執筆依頼が開始できるよう要領や表記方法を整理した。

令和元年度は、執筆依頼後に提出された原稿を元に内容やレイアウトについて検討した。

令和2年度は、執筆者との調整及び原稿の確認、内容やレイアウトについて検討した。

令和3年度は、原稿の確認、内容や表紙等のレイアウトの検討・決定、冊子の印刷・製本や、デジタルアーカイブ用の原稿作成、原稿の確認を行った。

【作成準備委員会】

所掌：記念誌の編集の基本方針に関すること。

構成：5人以内（学識3人以内、在住・在勤・在学市民2人以内）

任期：平成29年3月29日から平成29年7月12日まで

回数：3回開催

内容：記念誌編集の基本方針等について

【編集委員会】

所掌：記念誌の内容・構成の検討、監修、執筆作業の進行管理に関すること。

構成：6人以内（学識2人以内、市民団体推薦市民2人以内、在住・在勤・在学市民2人以内）

任期：平成29年10月27日から令和4年3月31日まで

回数：平成29年度 2回開催、平成30年度 3回開催、令和元年度 3回開催、

令和2年度 4回開催、令和3年度 3回開催

内容：平成29年度 会議運営に関する事項の確認等について

平成30年度 記念誌の構成について、執筆要領等について

令和元年度 原稿作成状況について、レイアウト等について

令和2年度 原稿について、レイアウト（表紙等含む）について

令和3年度 原稿について、レイアウト（表紙等含む）について、完成原稿の確認

事業カルテ (4年度決算)

企画課

02-01-07-954

若者のまちづくり推進事業

◇事業の位置づけ等

| | | | | | | |
|---------------------------|--|-----------------------|-------------------|---|---|---|
| 事務の種類 | 自治事務 | 基礎となる法令 | — | | | |
| 第五次総合計画 基本計画体系 | 目指すまちの姿 | みんなで楽しみながら地域づくりを進めるまち | | | | |
| | 政策 | C1 | 地域で支え合い、暮らせるまちづくり | | | |
| | 施策 | 2 | 市民主体による地域づくりの推進 | | | |
| | 関連する施策 | — | — | — | — | — |
| 関連する個別計画 | 多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略 | | | | | |
| 関連する報告書など | 平成29年度～令和4年度多摩市若者会議実施報告書 | | | | | |
| 事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など | 平成29年度、若い世代の人口減少を抑制していくための取り組みとして、若い世代が「住みたい」と思えるようなまちづくりを進めていくため、「多摩市若者会議」を設置した。令和元年度までの3年間で年4回程度のワークショップ等を通して、プロジェクトの検討、プロジェクトの実践を行い、若い世代の視点でまちの活性化を図った。令和2年度以降は、第五次多摩市総合計画第3期基本計画に掲げる政策である「地域で支え合い、暮らせるまちづくり」の実施に向け、「現役世代の地域参加・行政参画の促進」に取り組む。 | | | | | |

◇令和4年度の事業の実施内容

| | 事業開始の時期 | 平成29年度 |
|--------------------|---|--------|
| 事業の目的、 令和4年度の目標 | 令和4年度は若い世代のアイデアを反映したまちづくりの推進に向け、若者会議参加者たちが活動の過程で得た経験と地域とのつながりを生かしながら、会議体や地域課題解決提案アイデアイベント等を開催することを通じて、若い世代の参画の促進のためのノウハウの獲得を目的とする。 | |
| 予算の執行方法 | 以下を実施するための委託料 ①若者が一堂に会する会議の開催、ファンリテーションに係る経費(会場使用料、事務経費、調査・報告書作成費等) ②これまでに発案、提案されたプロジェクトの企画、実践に係る事業費 | |
| 事業の成果 | 会議やフィールドワーク、「ハロウィン道中子ども110番」等の地域課題解決アイデアの実施を通して、若い世代のまちづくりへの参画を促進し、まちへの関心喚起や愛着醸成につなげるとともに、若者の視点を活かしたまちづくりを推進するに必要なノウハウを獲得することができた。 また、「多摩市は若者がやりたいことができる魅力的なまち」というメッセージをメディア等に積極的に発信することで、大学生を中心とした若者世代へのシティセールスにつなげた。 | |

◇事業にかかる費用

| 区 分 | 平成30年度(決) | 令和元年度(決) | 令和2年度(決) | 令和3年度(決) | 令和4年度(決) | |
|------------|-----------|----------|----------|----------|----------|--------|
| 決算額(単位:千円) | 3,286 千円 | 3,375 千円 | 880 千円 | 484 千円 | 484 千円 | |
| 事業にかかる実コスト | 4,966 千円 | 8,439 千円 | 3,475 千円 | 2,803 千円 | 2,808 千円 | |
| 内 訳 | 直接経費 | | | | | |
| | 国庫支出金 | 0 千円 | 0 千円 | 660 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| | 都支出金 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| | 地方債 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| | その他特定財源 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 |
| | 一般財源 | 3,286 千円 | 3,375 千円 | 220 千円 | 484 千円 | 484 千円 |
| | 間接経費 | | | | | |
| 職員人件費 | 1,680 千円 | 5,064 千円 | 2,595 千円 | 2,319 千円 | 2,324 千円 | |
| 《従事人員数》 | 0.20 人 | 0.59 人 | 0.31 人 | 0.28 人 | 0.28 人 | |
| その他の人件費 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | 0 千円 | |

◇成果指標

| 指標の種類 | 指標について | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------------|-------------------------------------|----|-------|-------|-------|
| 活動指標 (アウトプット) | 「若者のまちづくり拠点(未知カフェ)」を中心とした若者発意の事業実施数 | 目標 | 4事業 | 4事業 | 4事業 |
| | | 結果 | 5事業 | 7事業 | — |
| 成果指標 (アウトカム) | 若者団体の開催する会議、イベント、事業への参加者数 | 目標 | 100人 | 100人 | 100人 |
| | | 結果 | 115人 | 142人 | — |

特記事項

—

◇自己点検

| 成果 推移 指標 | 今後の見通し | | | 方今 向後の 性の イ | 今後の課題や方向性に関するコメント |
|----------------|--------|-------------|--------|----------------------|--|
| | 量 的 | 財 源 的 | 一 般 | | |
| A | B | C | イ | | 今後も広く若者の参画を募りつつ、その中から中心的な役割を担う人材が生まれるよう取り組む。 |

| | |
|--------------|--------------|
| 02-01-07-954 | 若者のまちづくり推進事業 |
|--------------|--------------|

◇ 執行状況及び成果等

平成30年度ワークショップ

| 開催日 | 会議内容 | 参加人数 |
|-------------|----------|------|
| 平成30年6月1日 | 第1回若者会議 | 53名 |
| 平成30年7月6日 | 第2回若者会議 | 37名 |
| 平成30年8月31日 | 第3回若者会議 | 26名 |
| 平成30年9月22日 | フィールドワーク | 23名 |
| 平成30年11月16日 | 第4回若者会議 | 31名 |
| 平成31年2月13日 | 第5回若者会議 | 60名 |

令和元年度ワークショップ

| 開催日 | 会議内容 | 参加人数 |
|------------|----------|------|
| 令和元年5月30日 | 第1回若者会議 | 48名 |
| 令和元年6月28日 | 第2回若者会議 | 30名 |
| 令和元年7月24日 | 第3回若者会議 | 36名 |
| 令和元年11月22日 | 第4回若者会議 | 20名 |
| 令和元年11月23日 | フィールドワーク | 16名 |
| 令和2年1月20日 | 第5回若者会議 | 71名 |

令和2年度ワークショップ

| 開催日 | 会議内容 | 参加人数 |
|------------|----------|------|
| 令和2年6月25日 | 第1回若者会議 | 36名 |
| 令和2年7月12日 | フィールドワーク | 30名 |
| 令和2年9月25日 | 第2回若者会議 | 25名 |
| 令和2年11月20日 | 第3回若者会議 | 32名 |
| 令和3年1月15日 | 第4回若者会議 | 34名 |

令和3年度ワークショップ

| 開催日 | 会議内容 | 参加人数 |
|------------|----------|------|
| 令和3年6月25日 | 第1回若者会議 | 40名 |
| 令和3年10月8日 | 第2回若者会議 | 25名 |
| 令和3年11月14日 | フィールドワーク | 15名 |
| 令和3年11月20日 | 第3回若者会議 | 35名 |

令和4年度ワークショップ

| 開催日 | 会議内容 | 参加人数 |
|------------|----------|------|
| 令和4年9月22日 | 第1回若者会議 | 49名 |
| 令和4年11月23日 | フィールドワーク | 12名 |
| 令和4年12月16日 | 第2回若者会議 | 41名 |
| 令和5年1月20日 | 第3回若者会議 | 40名 |

令和4年度に若者会議が計画し実行したプロジェクト(太字はメディアで取り上げられたプロジェクト)

| |
|--|
| <p>【未知カフェを活用した実行に至ったプロジェクト(10プロジェクト)】 MichiCafeのカフェ運営、MichiCafe夏祭り、日本酒の日イベント、おかしな予感、Café Korogi、多摩市まちゼミ「メダカアクアリウムワークショップ」、首都圏サミット懇親会、多摩市まちゼミ「論語読書ワークショップ」、へべれけお花見ウォーキング、未知畑ハーベスト</p> |
| <p>【長期的なプロジェクト(4プロジェクト)】 多摩地域マイクロリズムプロジェクト(たまころりん)、多摩市アプリ、MichiCafe BARイベント、MichiCafe コワーキングスペース営業</p> |
| <p>【地域への参画プロジェクト(16プロジェクト)】 ハロウィン道中子ども110番の家、お弁当マーケットinグリナード永山、東永山小学校アーカイヴ(UR都市機構)写真展示他、ゆう桜ヶ丘避難所準備委員会訓練、諏訪名店街SUMMER SALE縁日、多摩BOOKさんぽ、多摩ランタンフェスティバル2022、諏訪・馬引沢たんけん隊、見つけよう秋の多摩NEWライフ(UR都市機構)出展、せいせき音フェス運営協力、こぶし館まつり、ばらあーと多摩市みんなの美術作品展(豊ヶ丘・貝取会場)、八角堂クリスマスイベントワークショップ開催、貝取豊ヶ丘地域エリアミーティングファシリテーション、多摩中央公園パークライフショー、多摩市妄想都市計画</p> |

事業カルテ (4年度決算)

企画課

02-01-07-955

ふるさとTAMA応援寄附金管理運営経費

◇事業の位置づけ等

| | | | | | | |
|---------------------------|--|---------|---------|---|---|---|
| 事務の種類 | 自治事務 | 基礎となる法令 | 多摩市寄附条例 | | | |
| 第五次総合計画 基本計画体系 | 目指すまちの姿 | — | | | | |
| | 政策 | — | — | | | |
| | 施策 | — | — | | | |
| | 関連する施策 | — | — | — | — | — |
| 関連する個別計画 | 多摩市まち・ひと・しごと創生総合戦略 | | | | | |
| 関連する報告書など | 「多摩市の財政状況(決算の概要)」 | | | | | |
| 事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など | 平成27年度の国の制度改正以降、ふるさと納税の機運の高まりを受けて、本制度を市への来街促進に活用するため、寄附環境を整備(クレジット・マルチペイメント納付)し、返礼品の贈呈を開始した。その後、返礼品のメニュー数を拡大しながら、寄附件数・金額の増加に努めてきた。 | | | | | |

◇令和4年度の事業の実施内容

| | 事業開始の時期 | 平成27年度 |
|--------------------|--|--------|
| 事業の目的、 令和4年度の目標 | 市への寄附(ふるさと納税)に対し、直接の訪問に資するお礼の品や市への関係人口の増加に資するお礼の品を設定することで、寄附文化の醸成とともに、市の魅力発信や来街の促進を図る。令和4年度は、一層の来街促進を実現させるため、事業者と連携しさらなる魅力ある返礼品メニューを設定するとともに、寄附環境の整備を図る。 | |
| 予算の執行方法 | ①寄附金の代理納付及びふるさと納税ポータルサイト運営等に係る役務費 ②ふるさと納税の返礼(市外在住者個人のみ贈呈対象)に係る業務委託料 | |
| 事業の成果 | 市への寄附(ふるさと納税)を通じて、市外在住者との接点を増やすことで、新たな交流を創出し、多摩市ならではの取組みとして、「寄附金を通じた来街促進・地域資源の活用」を図った。また、新たな返礼品として鉄道架線をアップサイクルした靴べらを追加した。 | |

◇事業にかかる費用

| 区 分 | 平成30年度(決) | 令和元年度(決) | 令和2年度(決) | 令和3年度(決) | 令和4年度(決) | |
|------------|-----------|----------|----------|----------|----------|---------|
| 決算額(単位:千円) | 3,957千円 | 4,377千円 | 2,286千円 | 3,357千円 | 2,744千円 | |
| 事業にかかる実コスト | 5,637千円 | 7,810千円 | 6,304千円 | 7,084千円 | 6,894千円 | |
| 内 訳 | 直接経費 | 国庫支出金 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 |
| | | 都支出金 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 |
| | | 地方債 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 |
| | | その他特定財源 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 |
| | | 一般財源 | 3,957千円 | 4,377千円 | 2,286千円 | 3,357千円 |
| | 間接経費 | 職員人件費 | 1,680千円 | 3,433千円 | 4,018千円 | 3,727千円 |
| | 《従事人員数》 | 0.20人 | 0.40人 | 0.48人 | 0.45人 | |
| | その他の人件費 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | 0千円 | |

◇成果指標

| 指標の種類 | 指標について | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
|------------------|---|----|-------|-------|-------|
| 活動指標 (アウトプット) | 返礼品メニュー数(期間限定の返礼品など、 年度内で終了した返礼品も含む) | 目標 | 36品 | 36品 | 36品 |
| | | 結果 | 28品 | 25品 | — |
| 成果指標 (アウトカム) | 市外在住の個人からの寄附件数 | 目標 | 160件 | 160件 | 330件 |
| | | 結果 | 298件 | 208件 | — |

特記事項

—

◇自己点検

| の 成 果 推 移 指 標 | 今後の見通し | | 方 今 向 後 性 の | 今後の課題や方向性に関するコメント |
|---------------------------------|--------|-------------|----------------------------|---|
| | 量 的 | 財 源 般 | | |
| B | A | A | イ | 令和5年度より経済観光課に所管替えを行い、来街促進等の従来方針に加えて、市内産業の振興も図る。 |

02-01-07-955

ふるさとTAMA応援寄附金管理運営経費

◇ 執行状況及び成果等

1 返礼品送付等業務委託実施状況

| | 事業者数 | 返礼品メニュー数 | 送付件数 | 返礼品送付委託費 |
|--------|------|----------|------|------------|
| 平成30年度 | 6事業者 | 35 | 269件 | ¥3,780,594 |
| 令和元年度 | 5事業者 | 38 | 280件 | ¥4,173,198 |
| 令和2年度 | 5事業者 | 28 | 147件 | ¥1,939,896 |
| 令和3年度 | 6事業者 | 28 | 293件 | ¥3,167,980 |
| 令和4年度 | 5事業者 | 25 | 208件 | ¥2,555,910 |

2 寄附実績

| | 寄附件数 | 寄附金額 |
|--------|------|-------------|
| 平成30年度 | 286件 | ¥64,453,309 |
| 令和元年度 | 295件 | ¥15,077,334 |
| 令和2年度 | 340件 | ¥17,290,103 |
| 令和3年度 | 312件 | ¥12,817,086 |
| 令和4年度 | 215件 | ¥10,316,266 |

3 寄附実績(市外在住の個人からの寄附)

| | 寄附件数 | 寄附金額 |
|--------|------|-------------|
| 平成30年度 | 274件 | ¥52,898,309 |
| 令和元年度 | 286件 | ¥14,500,000 |
| 令和2年度 | 146件 | ¥5,301,779 |
| 令和3年度 | 298件 | ¥10,990,000 |
| 令和4年度 | 208件 | ¥9,743,000 |